

# 三色旗

No. 678

特集／色と紋様の総合科学



du Caucase.  
17. Jan.

1. Fleur.  
2. Petale grossie.  
3. Calice-Pétales.

読んだら書くのか？  
書いたら読むのだ！

一九五二年、亡命作家ウラジミール・ナポコフにハーバード大学で文学講義を担当させることになったとき、言語学者ローマン・ヤコブソンが苦言を呈した。「次は象に動物学を教えてもらうかね」文学研究の専門性は作家ごときに譲れない領域とされたのだ。

それから半世紀、全米で三五〇以上の大学が創作専攻を設置している。修士課程は優に百を超え、二十数校が博士課程を擁している。英文科内に文学・言語学などと併設されることが多い創作科課程の独自性は、詩や小説といった創作作品を学位論文とすること、ゼミに代わってワークショップが教育の中心にあることだ。

アメリカで創作科は世間に広く認められ

るようになった。作家・詩人が大学教員となることで、大学を「象牙の塔」から文化的に親しみやすい場所へ変貌させたことは、反インテリの伝統の強いアメリカでは意義深いことでもある。だが、作家養成機関として見るとき、創作科はなおうさんくさい場所とされているような気がする。

というのも、現在何千もの詩人・作家が



講師や教授の役を全米の大学でつとめているわけだが、もちろん作家として生計が成り立つものは一握りなので、もしかすると大学の創作科とは、作家を養成するのではなく、作家を養うシステムではないかという疑問が生ずるのだ。小説読みより小説家志望者の方が多いかに見える今日このごろ、創作の授業はどこも大盛況。アイオワ大学の創作科は倍率からすると、ハーバード

法科大学院より入るのが難しいなどと言われている。大学にとつては格好の収入源、食えない作家にはありがたい職場である。

と、皮肉なことばかりも言っている。創作科のすばらしさをアピールしなくては。そこでいきなり結論だが、創作科は、実は読者養成の場として文学に大きく貢献しているのだ。考えてもみてほしい。卒業生のうち「作家」になるのはどれだけか。彼らが文学にとつていかに大切な支えであるか。どんなに作家歴の長い大小説家でも、執筆歴が読書歴を上回ることはない。創作の実習は、特に初心者にとつては、いかによく書くことが困難であるかを体験する機会であり、他人の文章のうまみを細部までありがたく味わう心がけを身につけるきっかけとなる。読むことは、よく書くための前提だが、書くことによつても、私たちはよりよく読むすべを学んでいく。

吉田恭子(文学部助手 創作・アメリカ文学)